

“**外食**”に関する意識調査
～普段の外食と特別な外食の違いに着目～

近年、節約志向の高まり等に伴い、“外食”にかかる金額が減少傾向にあります(図1)。また、本年5月に生活科学研究室が実施した調査においても、“節約”する項目で“外食”がトップとなりましたが、一方“プチ贅沢”したいものとして“外食”をあげる人が多いこともわかりました(図2)。

そこで今回は、外食シーンを普段の外食と特別な外食※に分け男女年代別に調査したところ、メリハリのついた外食の実態が伺えました。

※特別な外食: 日常的な食事とは異なり、自分にとって特別と考える外食

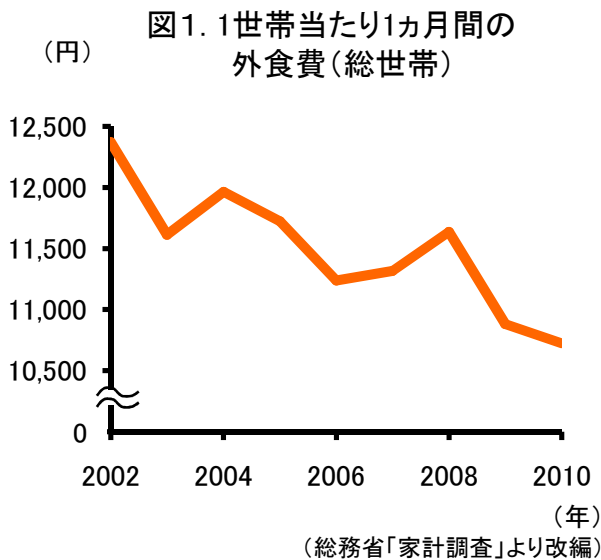
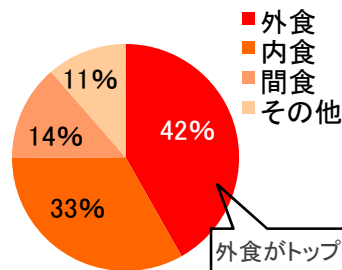


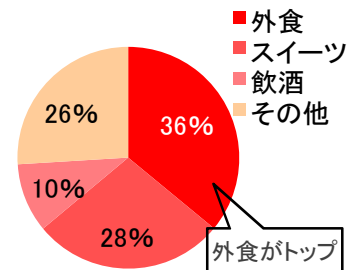
図2. 節約とプチ贅沢の内容

	1位	2位	3位
節約項目	食事 46%	衣服 20%	娯楽 10%
プチ贅沢項目	食事 54%	娯楽 21%	美容・健康 7%

節約項目-食事詳細



プチ贅沢項目-食事詳細



(日清オイリオグループ(株) 2011年5月 生活科学研究室調査)

ポイント

- ◇50～60代は「回転寿司」が普段の外食先の上位！
- ◇男性は「ひとり」、女性は「親」とも普段の外食をする
- ◇普段の外食は圧倒的に「価格」！特別な外食の場合は「味」や「雰囲気」！
- ◇特別な外食の頻度は減少するも、金額は増加！
- ◇ボリューム感のあるワードにひかれる男性と、健康感のあるワードにひかれる女性
- ◇男性は年代が低い程、女性は年代が高い程、外食での経験を自宅での食事作りに活かす

調査概要

- 調査方法 : インターネット
- 調査対象 : 2～3ヵ月に1日程度以上外食をする全国20～60代の男女1030名(男女・年代 各103名)
- 調査実施日 : 2011年8月26～27日

Q1. 外食でどのようなお店を利用しますか？（複数回答）

- ✓ 普段の外食では「ファミリーレストラン」、特別な外食では「和食・日本料理店」が男性・女性ともにトップとなっていました。
- ✓ 男女年代別にみると、普段の外食において男性および20～40代女性では「ファミリーレストラン」や「ラーメン店」がトップにあがっていましたが、50～60代女性では「回転寿司」がトップとなっており、50～60代男性においても2位となっていました。また、20代女性でのみ「カフェ・喫茶店」が上位にあがっているのも特徴的でした。
- ✓ 男女年代別にみると、特別な外食において20～30代男性・女性で「焼肉店」や「イタリアンレストラン」が上位にあがっていました。また、20代男性で「居酒屋・バー」、20代女性で「フレンチレストラン」があがっていることも特徴的でした。

【全体】

	＜普段の外食＞		＜特別な外食＞	
	男性	女性	男性	女性
1位	ファミリーレストラン 63%	ファミリーレストラン 71%	和食・日本料理店 40%	和食・日本料理店 49%
2位	ラーメン店 60%	回転寿司 62%	焼肉店 34%	イタリアンレストラン 45%
3位	回転寿司 56%	ラーメン店 56%	イタリアンレストラン 33%	寿司店 34%
4位	ファストフード店 55%	ファストフード店 56%	寿司店 31%	フレンチレストラン 34%
5位	うどん・そば店 46%	うどん・そば店 53%	居酒屋・バー 28%	洋食店 31%

【男女年代別】

＜普段の外食＞

		20代	30代	40代	50代	60代
男性	1位	ファミリーレストラン 71%	ラーメン店 66%	ファミリーレストラン 72%	ラーメン店 55%	ファミリーレストラン 57%
	2位	ファストフード店 ／ラーメン店 各66%	ファストフード店 65%	ラーメン店 68%	ファミリーレストラン ／回転寿司 各54%	回転寿司 50%
	3位	——	回転寿司 64%	ファストフード店 66%	——	ラーメン店 46%
女性	1位	ファミリーレストラン 82%	ファミリーレストラン 82%	ファミリーレストラン 75%	回転寿司 67%	回転寿司 58%
	2位	ファストフード店 79%	ファストフード店 73%	ファストフード店 61%	ファミリーレストラン 62%	ファミリーレストラン 57%
	3位	カフェ・喫茶店 72%	回転寿司 61%	回転寿司 ／ラーメン店 各58%	ラーメン店 57%	うどん・そば店 52%

<特別な外食>

		20代	30代	40代	50代	60代
男性	1位	焼肉店 ／イタリアンレストラン 各37%	焼肉店 47%	和食・日本料理店 43%	和食・日本料理店 45%	和食・日本料理店 54%
	2位	—	イタリアンレストラン 34%	焼肉店 41%	イタリアンレストラン 38%	寿司店 32%
	3位	居酒屋・バー 35%	和食・日本料理店 32%	寿司店 36%	寿司店 ／中華料理店 各29%	洋食店 26%
女性	1位	イタリアンレストラン 63%	イタリアンレストラン 50%	和食・日本料理店 45%	和食・日本料理店 70%	和食・日本料理店 68%
	2位	フレンチレストラン 39%	焼肉店 42%	イタリアンレストラン 42%	イタリアンレストラン 41%	洋食店 38%
	3位	洋食店 37%	寿司店 33%	焼肉店 33%	寿司店 37%	寿司店 34%

Q2. どなたと外食をしますか？(複数回答)

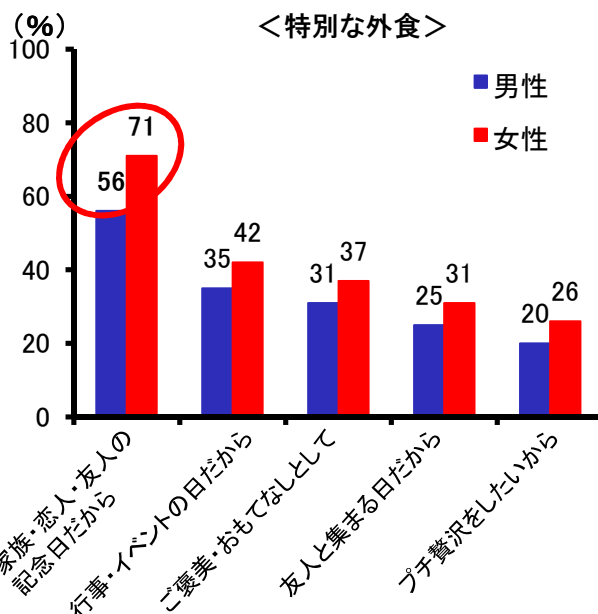
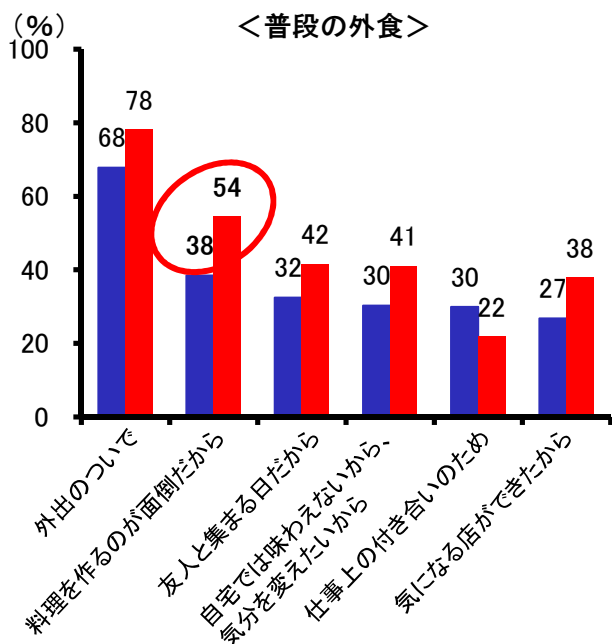
- ✓ 普段の外食では、男性・女性ともに「配偶者」、「友人」が上位にあがっており、男性では「ひとり」が3位に、女性は「親」が4位にあがっていることも特徴的でした。
- ✓ 特別な外食では、男性・女性ともに「配偶者」、「子供」、「友人」、「親」が上位にあがっており、男性でのみ「恋人」が上位にあがっていることも特徴的でした。

	<普段の外食>		<特別な外食>	
	男性	女性	男性	女性
1位	配偶者 53%	配偶者 61%	配偶者 55%	配偶者 60%
2位	友人 44%	友人 59%	子供 39%	子供 48%
3位	ひとり 42%	子供 50%	友人 31%	友人 42%
4位	子供 35%	親 36%	親 30%	親 39%
5位	職場の同僚・上司 29%	ひとり 25%	恋人 21%	その他の家族 21%

Q3. 外食をする理由は何ですか？(複数回答)

✓ 普段の外食では、「外出のついで」、「料理を作るのが面倒」、「友人と集まる日」、特別な外食では、「家族・恋人・友人の記念日」、「行事・イベントの日」、「ご褒美、おもてなし」が男性・女性ともに上位にあがっていました。

✓ 男性と比較して女性の方がほとんどの項目でポイント数が高く、特に普段の外食では「料理を作るのが面倒」、特別な外食では「家族・恋人・友人の記念日」の差が大きくなりました。



Q4. 外食時のこだわりポイントは何ですか？(複数回答)

✓ 外食時のこだわりポイントは、普段の外食において男性・女性ともに「価格」が圧倒的にトップで、80%程度となりましたが、特別な外食では「料理の味」や「店の雰囲気」が上位にあがり、「価格」は40%以下になりました。

	＜普段の外食＞		＜特別な外食＞	
	男性	女性	男性	女性
1位	価格 78%	価格 81%	料理の味 67%	料理の味 71%
2位	料理の味 52%	料理の味 60%	店の雰囲気 52%	店の雰囲気 66%
3位	店の立地※1 45%	店の立地 53%	料理のジャンル 47%	料理のジャンル 58%
4位	料理のジャンル※2 36%	料理のジャンル 46%	価格 31%	価格 38%
5位	店の業態※3 30%	店の雰囲気※4 39%	店の評判 30%	店の立地 36%

※1: 店の立地(アクセス・駐車場・営業時間など)

※2: 料理のジャンル(和食・洋食・中華・イタリアンなど)

※3: 店の業態(ファミリーレストラン・居酒屋など)

※4: 店の雰囲気(広さ・接客態度・ゆっくりできるなど)

外食時のお店選びやメニュー選びの失敗談を教えてください！（自由回答より）

< 普段の外食 >

- ・オシャレだと評判の店に行ったら、雰囲気だけでまずかった(30代男性)
- ・ファミレスに行くと、家でもできそうなメニューを頼んでしまってもったいなかった(40代女性)
- ・クーポン付チラシをもらったので行っただが、安かろうまずかろう・・・でがっかりした(60代女性)

< 特別な外食 >

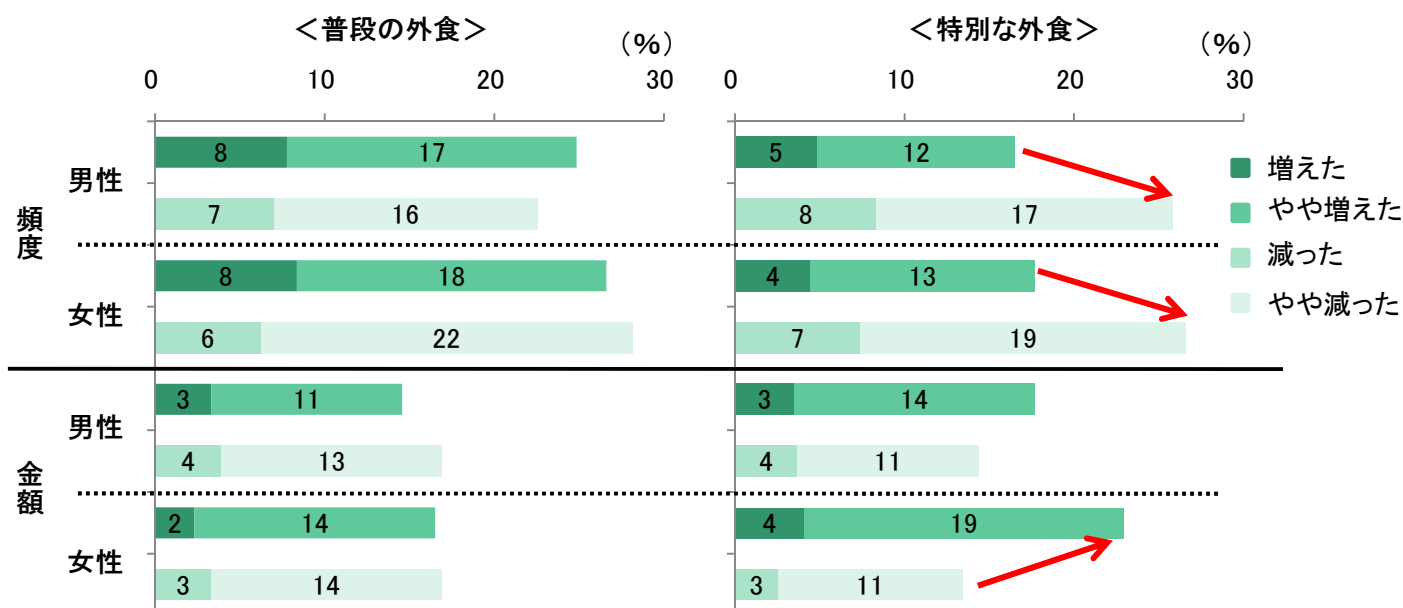
- ・雰囲気重視で入ったら価格が想像以上に高かった(20代男性)
- ・上司と一緒にだったので嫌いなものも食べなければならなかった(40代男性)
- ・ネットでの検索で、口コミに頼りすぎた(50代女性)

< なかにはこんな意見も！ >

- ・事前にリサーチしているので失敗はない(50代男性)
- ・行きつけの店や、好みの合う友人に聞いたり、調べてから行くので失敗の記憶はない(60代女性)

Q5. 1年前と比較して、外食の頻度(年間の回数) & 金額(1回あたりの金額)は増えましたか？

- ✓ 普段の外食では、頻度および金額とも「変わらない」が最も高くなりましたが、「増加」(「増えた」+「やや増えた」)と「減少」(「減った」+「やや減った」)の割合は同程度となりました。
- ✓ 特別な外食では、頻度および金額とも「変わらない」が最も高くなりましたが、頻度は「減少」が、金額は「増加」が高くなり、特に女性で顕著となりました。



特別な外食の金額が増えた理由は？(自由回答より)

- ・回数が減った分、一回の食事に対する金額が増えた(20代女性)
- ・たまになので普段食べられないおいしい料理を食べたい(30代男性)
- ・節約ばかりでは飽きるから(40代男性)
- ・少し贅沢をしたいから(60代女性)

Q6. 外食をする際にメニューに書かれていたら興味をひかれるワードは何ですか？（複数回答）

- ✓興味をひかれるワードとしては、男性は「国内産（〇〇県産など）」、「お得」、「旨い」が、女性は「旬・新鮮」、「国内産（〇〇県産など）」、「おすすめ」が上位にあがっていました。
- ✓男性と比較して、女性の方がポイント数が高い項目が多く、様々なワードにひかれている様子が伺えました。
- ✓男性は「食べ放題」、「ボリューム満点」といったボリューム感、女性は「有機・無農薬」、「ヘルシー・健康」といった健康感のあるワードにひかれている様子が伺えました。
- ✓男女年代別でみると、20～30代男性では「お得」や「格安」、20代女性でも「お得」といった価格に関連するワードが、30代女性では「限定」が上位にあがっているのも特徴的でした。

【全体】

	男性	女性		男性	女性
1位	国内産※1 50%	旬・新鮮 64%	6位	格安 40%	有機・無農薬 49%
2位	お得 49%	国内産 59%	7位	限定 37%	ジューシー 47%
3位	旨い 45%	おすすめ 59%	8位	食べ放題 35%	ヘルシー・健康 46%
4位	旬・新鮮 42%	お得 57%	9位	ジューシー 35%	人気 45%
5位	おすすめ 42%	限定 52%	10位	ボリューム満点 32%	さっぱり 45%

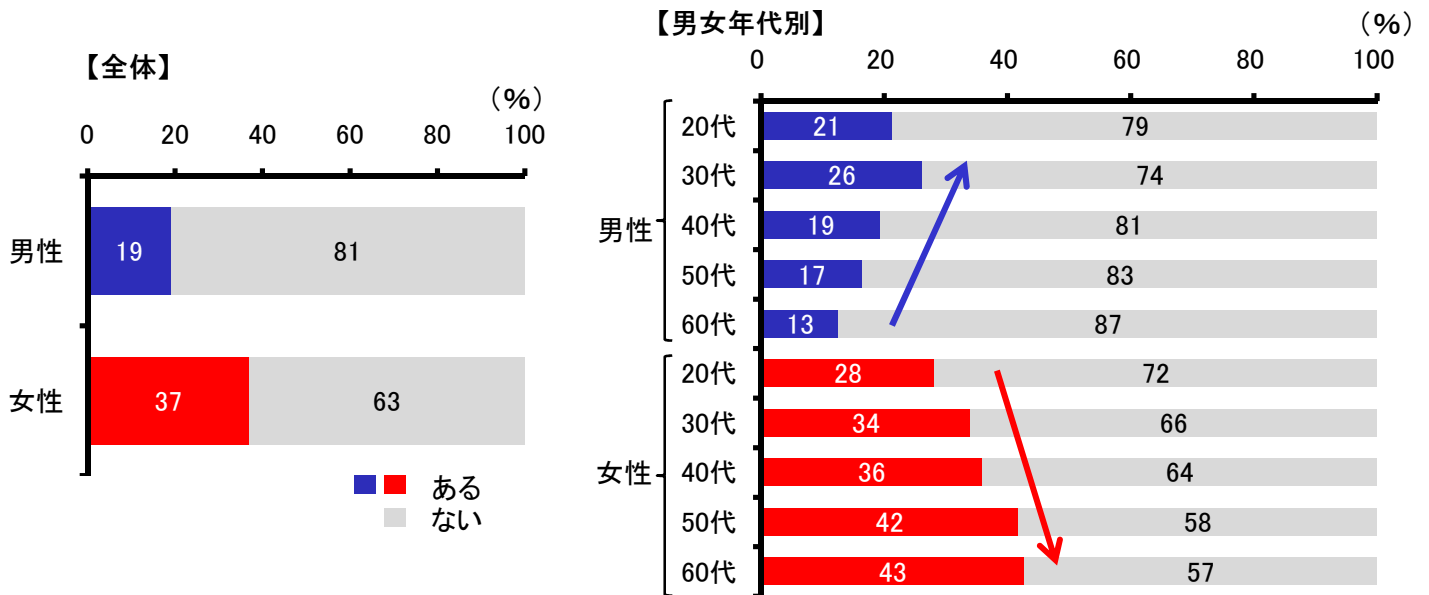
※1:国内産(〇〇県産など)

【男女年代別】

	20代	30代	40代	50代	60代	
男性	1位	お得 58%	お得 48%	国内産 55%	国内産 ／旬・新鮮 各45%	国内産 60%
	2位	格安 49%	旨い 44%	お得 53%	—	旬・新鮮 54%
	3位	ボリューム満点 ／国内産 各46%	国内産 42%	旨い 49%	旨い／おすすめ 各41%	旨い／お得 各49%
女性	1位	お得 67%	旬・新鮮 57%	旬・新鮮 62%	旬・新鮮 76%	旬・新鮮 65%
	2位	おすすめ 62%	限定 53%	国内産 61%	国内産 68%	国内産 61%
	3位	旬・新鮮 ／ヘルシー・健康 各61%	国内産 ／有機・無農薬 各51%	おすすめ 56%	おすすめ 65%	おすすめ 60%

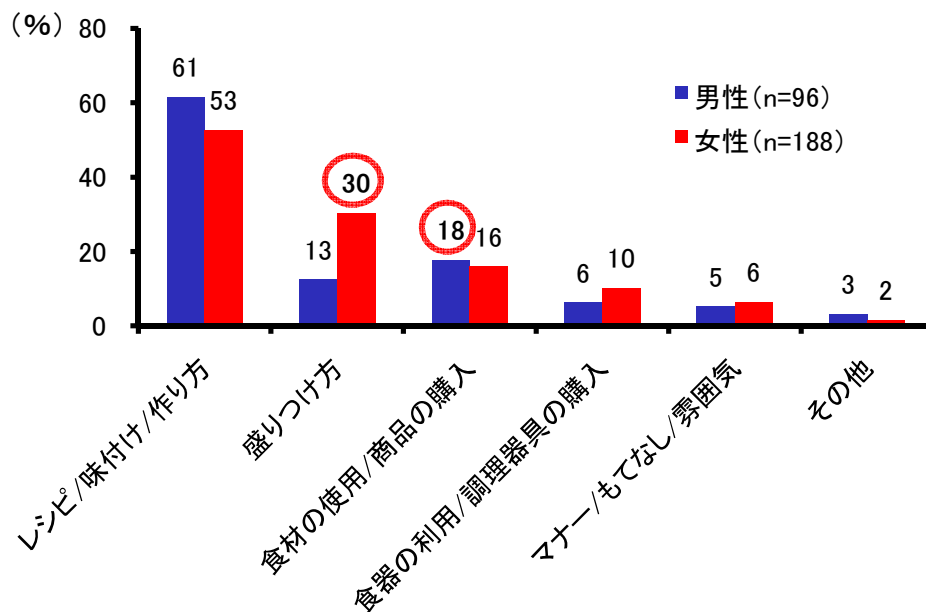
Q7. 家で食事を作る際に、外食での経験を参考にしたり取り入れたりしたことはありますか？
また、その内容は何ですか？

✓外食での経験を自宅での食事作りに活かしている人は、男性で19%、女性で37%となりました。
✓男女年代別でみると、男性は年代が低い程、逆に女性は年代が高い程、食事作りに活かしている人が多くなりました。



✓食事作りに活かしている内容としては、男性・女性ともに「レシピ／味付け／作り方」がトップとなり、男性は「食材の使用／商品の購入」、女性は「盛りつけ方」も上位にあがっていました。

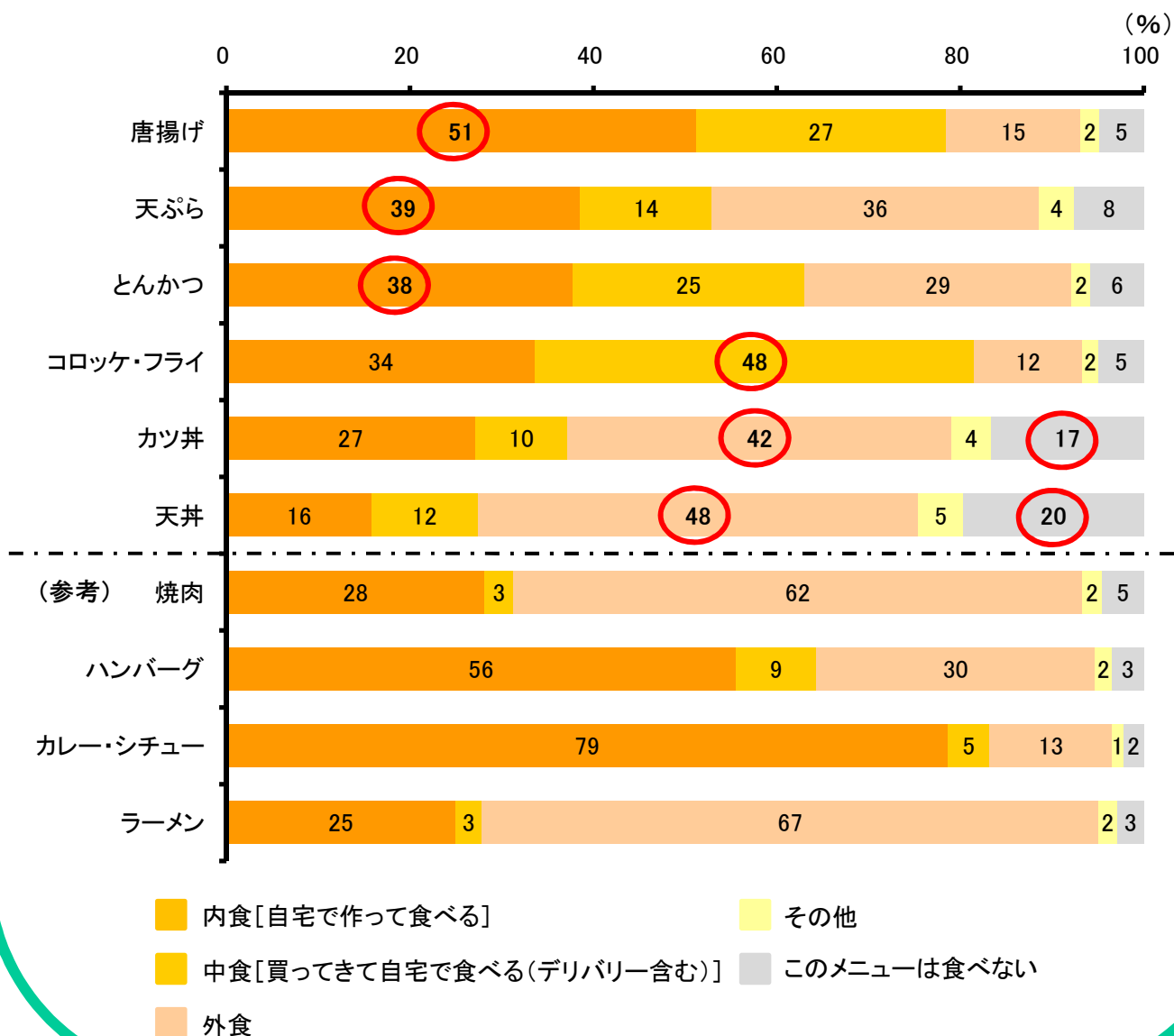
<食事作りに活かしている内容> (複数回答)



《TOPIC》

Q. 以下のメニューは、どのようなシチュエーションで食べることが多いですか？

- ✓「唐揚げ」、「天ぷら」、「とんかつ」は内食で食べるが多く、「コロッケ・フライ」は内食よりも中食で食べるが多くなりました。
 ✓「カツ丼」、「天丼」の丼ものになると内食よりも外食で食べるが多くなり、また「食べない」も他のメニューと比べて多いことがわかりました。



《お問合せ先》

日清オイリオグループ株式会社 生活科学研究室
<http://www.nisshin-oillio.com>
 〒104-8285 東京都中央区新川1-23-1 TEL.03-3206-5218

※本レポートの文章、データを許可なく複写・複製・転載することを禁じます。